

作物名	適用病害名・ 使用目的	希釈倍数	使用時期	本剤の 使用回数	チオファネートメチル含む 農薬の総使用回数	使用方法		
もも	切り口及び傷口の ゆ合促進	原液	剪定整枝時、病患部 削り取り直後、 及び病枝切除後	3回以内	10回以内 (塗布は3回以内、 休眠期の散布は1回以内、 生育期の散布は6回以内)	塗布		
おうとう					6回以内 (塗布は3回以内、 散布は3回以内)			
ぶどう					晩腐病		3倍	休眠期(萌芽前)
	つる割病							
いちじく	切り口及び傷口の ゆ合促進	原液	剪定整枝時、病患部 削り取り直後、 及び病枝切除後		14回以内 (塗布は3回以内、 灌注は6回以内、 散布は5回以内)			
オリーブ					5回以内 (塗布は3回以内、 散布は2回以内)			
オリーブ(葉)					3回以内			
かき					切り口の枯込防止		剪定整枝時	10回以内 (塗布は3回以内、 休眠期の散布は1回以内、 生育期の散布は6回以内)
キウイフルーツ	切り口及び傷口の ゆ合促進		剪定整枝時、病患部 削り取り直後、 及び病枝切除後		8回以内 (塗布は3回以内、 散布は5回以内)			
くり	胴枯病		病患部削り取り直後		7回以内 (散布は4回以内、 塗布は3回以内)			
果樹類 (かんきつ かりん、なし びわ、マルメロ りんご 小粒核果類 もも、おうとう ぶどう、いちじく オリーブ、かき キウイフルーツ くり を除く)	切り口及び傷口の ゆ合促進		剪定整枝時、病患部 削り取り直後、 及び病枝切除後	3回以内	3回以内			
きゅうり	つる枯病		原液	発病初期	5回以内	6回以内 (種子への処理は1回以内、 は種後は5回以内)		
すいか								
漬物用すいか								
まくわうり								
メロン				発病初期 但し、 収穫21日前まで	1回	5回以内 (種子への処理は1回以内、 塗布は1回以内、 散布は3回以内)		

作物名	適用病害名・ 使用目的	希釈倍数	使用時期	本剤の 使用回数	チオファネートメチル含む 農薬の総使用回数	使用方法
ばら	切り口及び傷口の ゆ合肥進	原液	剪定整枝時、病患部 削り取り直後、 及び病枝切除後	5回以内	5回以内	塗布
樹木類						
きり	腐らん病		剪定整枝時及び病患部 削り取り直後			
さくら	てんぐ巢病		病枝切除後			
ぶな(伐倒木)	クワイカビ類による 木材腐朽		伐倒直後	1回		木口に 塗布

効果・薬害などの注意

- 必要量を購入し、できるだけ残すことなく使いきってください。
- 1kg は使用直前によく攪拌し、刷毛等の適切な塗布用具を用いて塗布してください。また、200g チューブの場合、原液をチューブから直接または刷毛等で塗布してください。
- りんごの腐らん病の治療に使用する場合、病斑を見つけ次第病患部を大きめに完全に削り取り、その傷あと及びその周辺に十分に塗布してください。
また、剪定整枝時や、環状はく皮等による切り口に予防的に塗布してください。
- なしの胴枯病・紅粒がんしゅ病・輪紋病・きりの腐らん病の治療に使用する場合、病斑を見つけ次第、病患部を大きめに完全に削り取り、その傷あと及びその周辺に十分に塗布してください。
- ぶどうの晩腐病に使用する場合、結果母枝を主体に塗布してください。
- ぶどうに対し、萌芽後に使用すると生育遅延を生じるおそれがあるので、必ず萌芽前に使用してください。
- さくらのてんぐ巢病に使用する場合、病巢の発生している枝を健全部で切除し、その切り口に十分塗布してください。
- ぶな丸太の防菌に使用する場合、伐倒直後、直ちに(24 時間以内)木口に十分塗布してください。
なお、本剤による防菌効果は2ヵ月後までであり、それ以後の効果は期待できないので留意してください。
- うり類(きゅうり、すいか、漬物用すいか、まくわうり)に使用する場合、主茎の基部(地ぎわから 10cm ～ 20cm)や病患部に1週間間隔で2～3回塗布してください。この場合、病患部をあらかじめ削り取ってから塗布すると一層効果的です。
- 使用後の刷毛等の用具はそのまま放置せず、水でよく洗っておいてください。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにしてください。
- 本剤が自動車、壁などの塗装面、大理石、御影石にかかると変色するおそれがあるので、かからないようにしてください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けるようにしてください。
- 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けるようにしてください。

安全使用上の注意

- 眼に対して弱い刺激性があるので眼に入らないように注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗してください。
- 使用の際は農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするとともに衣服を交換してください。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。
- 街路、公園等で使用する場合は、使用中および使用後(少なくとも使用当日)に、小児や使用に関係のない者が使用区域に立ち入らないよう、縄囲いや、立て札を立てるなど配慮し、人畜などに被害を及ぼさないよう注意を払ってください。

● 保管上の注意

密栓し、直射日光をさけ、食品と区別して、小児の手の届かない冷涼な所に保管してください。

- 使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には、使用しないでください。
- 小児の手の届く所には、置かないでください。●空容器・空袋はほ場などに放置せず、適切に処理してください。